

平成 25 年度  
愛媛県議会海外派遣（米国）  
結果報告書

平成 25 年 11 月 20 日（水）～25 日（月）

アメリカ合衆国 ハワイ州

# 目 次

1	はじめに	1
2	派遣目的	2
3	派遣期間	2
4	議員団の構成	3
5	派遣結果報告	
(1)	えひめ丸慰霊碑 参拝	4
(2)	ハワイ州知事 表敬訪問	5
(3)	在ホノルル日本国総領事 表敬訪問	7
(4)	ホノルル市長 表敬訪問	8
(5)	フランキース・ナーサリー 調査視察	10
(6)	愛媛県ハワイ州姉妹提携10周年記念式典・レセプション	11
(7)	調査視察	14
	○愛媛ハワイ交流少年野球大会	
	○パールハーバー	
	○愛媛フェア in ハワイ	
	○宇和島 Hawaiian フェスティバル in Hawaii	
(8)	ハワイ愛媛県人会との意見交換会	18

## 1 はじめに

平成13年2月9日、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル沖で愛媛県立宇和島水産高校の水産実習船「えひめ丸」が、米国海軍原子力潜水艦グリーンビルとの衝突により沈没し、9名の尊い命が失われた。この悲惨な事故によって、関係者のみならず多くの人々が、決して癒されることのない深い悲しみに包まれたことは、いまだ記憶に鮮明である。

しかしながら、悲惨な事故であったが故に、この記憶を絶対に風化させてはならないという人々の思いもまた強く、えひめ丸事故は両地域の人々を特別な絆で結びつける契機となり、事故の2年後、平成15年11月21日に友好親善の強化と世界の恒久平和を願う愛媛県とハワイ州の間で、姉妹提携が締結されるに至ったところである。そしてこのたび、姉妹提携の締結後10周年の節目を迎えるに当たり、両地域の友好関係を再確認し、さらなる持続的発展への願いを込めて、愛媛県とハワイ州の姉妹提携が再締結されることとなった。

これを受け、県議会としても理事者と一体となってハワイ州とのさらなる友好交流深化に貢献するため、愛媛県ハワイ州姉妹提携10周年記念式典やハワイ州知事等現地行政機関関係者への表敬訪問などに参加する超党派の議員団を編成し、ハワイ州への派遣を実施することとした。

なお、各行事の詳細については後述するが、今回の派遣は、現地の方々との交流を通じて、愛媛県に対する友好の気持ちを肌で感じるとともに、愛媛県議会に対する期待の声なども耳にすることができ、大変意義深いものとなった。これらの成果は、議員団の派遣に理解をいただいた現地関係者をはじめとする関係諸氏の協力の賜物であり、議員団を代表して心より感謝を申し上げたい。

愛媛県議会海外派遣（米国）議員団長 河野 忠康

## 2 派遣目的

「愛媛県ハワイ州姉妹提携10周年記念式典」への出席等を通じてハワイ州との友好関係を促進する。

## 3 派遣期間

平成25年11月20日（水）～11月25日（月）までの6日間

### 【日程】

	月 日	地 名	時 刻	スケジュール
1	11/20 (水)	松山空港	19:50	松山空港 発
		羽田空港	21:10	羽田空港 着
		羽田空港	23:40	羽田空港 発
		ホノルル	11:55	ホノルル国際空港 着 (日付変更線通過)
				ホノルル 泊
2	11/21 (木)	ホノルル	8:45	えひめ丸慰霊碑参拝
			13:00	ハワイ州知事 表敬訪問
			14:30	在ホノルル日本総領事館 表敬訪問
			17:00	ホノルル市長 表敬訪問
				ホノルル 泊
3	11/22 (金)	ホノルル	10:00	フランキース・ナーサリー（果樹園） 調査視察
			17:30	愛媛県ハワイ州姉妹提携10周年記念式典 愛媛県ハワイ州姉妹提携10周年記念レセプション
				ホノルル 泊
4	11/23 (土)	ホノルル	8:30	「交流少年野球大会」（開会式・始球式）
			10:00	パールハーバー 視察
			14:30	愛媛フェア IN ハワイ 視察・激励
			15:30	宇和島 Hawaiian フェスティバル in Hawaii 視察・激励
			18:30	ハワイ愛媛県人会との意見交換会
				ホノルル 泊
5	11/24 (日)	ホノルル	12:20	ホノルル国際空港 発 (日付変更線通過)
6	11/25 (月)	成田空港	16:20	成田空港 着
		羽田空港	17:00	成田空港 発
			18:15	羽田空港 着
		松山空港	19:10	羽田空港 発
		20:50	松山空港 着	
				帰 着

#### 4 議員団の構成

以下のとおり、河野忠康副議長を団長に全9名の議員団を編成。

##### 【議員団名簿】

	氏名	期数	会派	備考
1	河野 忠康 KONO Tadayasu	4	自民	団長（副議長）
2	西原 進平 NISHIHARA Shimpei	6	自民	
3	赤松 泰伸 AKAMATSU Yasunobu	4	自民	
4	笹岡 博之 SASAOKA Hiroyuki	3	公明	副団長
5	大西 渡 OHNISHI Wataru	2	自民	
6	石川 稔 ISHIKAWA Minoru	2	社民	会計
7	逢坂 節子 OSAKA Setsuko	1	社民	
8	菊池 伸英 KIKUCHI Nobuhide	1	（無）	
9	西原 司 NISHIHARA Tsukasa	1	県・民	記録

## 5 派遣結果報告

### (1) えひめ丸慰霊碑 参拝

#### 【日 時】

11月21日(木) 8:45～9:15

#### 【場 所】

カカアコ・ウォーターフロント公園内 えひめ丸慰霊碑前

677 Ala Moana Boulevard, Suite 1001, Honolulu, HI 96813

#### 【内 容】

えひめ丸慰霊碑はホノルル市中心部の西に位置するカカアコ・ウォーターフロント公園内の小高い丘の上であり、事故当時の出港地点と衝突事故の発生地点、そして、えひめ丸が眠っている地点(遺体収容のため沈没地点から浅瀬へ曳航、その後深海に沈下。)の3点の間に位置している。慰霊碑を前にすると、約18kmの沖合でえひめ丸が不幸な事故に見舞われた海洋を眼下に捉えることとなり、事故に遭われた生徒、教官、船員の苦しみに思いを馳せずにはいられなかった。



えひめ丸慰霊碑



参拝の議員団

この慰霊碑には、事故の犠牲となった9名の方々のご冥福と世界の海の安全を祈るとともに、愛媛県とハワイ州、日本国とアメリカ合衆国の人々の相互理解の深化と友好促進の願いを込め、えひめ丸の錨と9環の鎖を永久の形見として設えており、平成14年2月の建立から11年以上の歳月が経過した今もなお、地元の学生等によるボランティア清掃などによって、慰霊碑とその周辺は非常に美しく十分に手入れが行き届いた状態であった。犠牲者やご遺族に対する地元ハワイの皆様深い思いやりに、県議会を代表する議員団として心から感謝を申し上げたい。



河野副議長の追悼あいさつ



議員団による献花

なお、参拝には、知事をはじめとする県訪問団ほか、愛媛ハワイ交流少年野球大会に参加する関係者など民間からも多数の方々が参列する中、現地曹洞宗僧侶による祈祷、参列者全員による黙禱、中村知事及び河野副議長による追悼の挨拶と代表献花に続き、参列者全員による献花が厳粛に執り行われ、13年前の事故で犠牲となられた9名の方々に対し、追悼の誠が捧げられた。

今回の慰霊碑参拝を通じて、えひめ丸事故のような悲惨な出来事が二度とあってはならないと、思いを強くするとともに、犠牲となられた方々のためにも、この事故をきっかけとして始まった愛媛とハワイの友好交流の絆を、未来志向で継続・発展させるため、県議会としてもこれまで以上に取り組むことを慰霊碑にお誓いした。

## (2) ハワイ州知事表敬訪問

### 【日 時】

11月21日(木) 13:30～14:00

### 【場 所】

ハワイ州政府ビル

415 South Beretania Street, Honolulu, HI

### 【対応者】

ニール・アバクロンビー ハワイ州知事

### 【内 容】

愛媛県ハワイ州姉妹提携の再調印を翌日に控え、中村知事をはじめとする県関係者と同行し、ハワイ州政府ビルにてニール・アバクロンビー州知事の表敬訪問を行った。州政府ビルは、ホノルル市西部にあり、えひめ丸慰霊碑のあるカカアコ・ウォーターフロント公園から直線距離で2km弱の場所に

ある。州政府ビルは、外観は箱型であるものの中央が吹き抜けとなった回廊式の造りで、吹き抜けを見上げると四方を巨大な壁に囲まれる格好になる非常に特徴的な構造で、日本との建築文化の違いを感じる造りであった。ビルの5階には知事室、知事室に併設される形で貴賓室というプレスルーム調の部屋があり、表敬訪問はそこで行われた。



姉妹提携再締結を終えて



河野団長から州知事に記念品を贈呈

州知事は、愛媛県訪問団の来訪に心から歓迎の意を表し、あいさつの中でこのたびの姉妹提携の再調印が、平成25年2月にハワイで執り行われた「えひめ丸事故慰霊式12周年」に愛媛県代表として参加していた上甲副知事との意見交換がきっかけであるという背景を披露するとともに、お互いの産業文化交流を深めることを誓うものであり、かつ、被害者のためのものであることを宣言された。

また、再調印が、愛媛とハワイ両地域の長く深い友好関係だけでなく、世界平和につながることを信じると述べるなど、その発言は終始穏やかで、愛媛に対する友愛と世界平和を願う博愛の気持ちに満ちたものであり、特に、愛媛とハワイの関係構築について、柔軟性と耐久性を兼ね備える竹を引き合いに、地中にしっかりと根を張った強さを見習いたいとの言葉が印象的であった。



州庁舎前にて

なお、本県から議員団が同行したのと同様に、表敬訪問の場には、州議会の上院及び下院の議員が同席しており、州知事もそのことを強調していた。



このことは、ハワイ州も本県と同様に今回の表敬訪問を重要に捉えていることの表れであると感じた。また、我々議員団の訪問がハワイ州側からも好意的に受け止められ友好交流促進に貢献できたのであれば、議員派遣の一つの成果であったと考える。

本来であればこの日は表敬訪問のみの予定であったが、翌日に予定されていた「愛媛県ハワイ州姉妹交流10周年記念式典」に州知事が都合により出席できなくなったため、この場にて姉妹提携の再調印が行われた。両知事による姉妹提携再締結宣言書への署名が交わされた際、愛媛とハワイの新たな友好交流の始まりを見届けた関係者は、皆一様に晴れやかな笑みを浮かべていたのが印象的であった。

### (3) 在ホノルル日本国総領事表敬訪問

#### 【日 時】

11月21日（木）14：20～15：00

#### 【場 所】

在ホノルル日本国総領事館

1742 Nuuanu Avenue, Honolulu, HI 96817

#### 【対応者】

重枝豊英 総領事

#### 【内 容】

ハワイ州知事の表敬訪問に続いて、知事訪問団と同行のもと在ホノルル日本国総領事館を訪ね、重枝豊英総領事の表敬訪問を行った。総領事は、えひめ丸慰霊式への出席や遺族等を公邸夕食会へ招待するなど、えひめ丸事故に対して日頃より並々ならぬ配慮をいただいているほか、平成25年6月には、自然消滅状態にあったハワイ愛媛県人会の設立に尽力いただくなど、ハワイにおける本県関係者の活動に多大の貢献を果たしており、愛媛県議会として感謝の意も込めての表敬訪問であった。

総領事は訪問団との懇談において、ハワイには日本の県人会が20程度あることに触れ、会員の多い県は魅力のある地域と感じており、愛媛県人会も入会希望が多かった。そして、平成25年8月に実際に愛媛を訪れた際の印象を紐解きながら、柔らかな人柄や深い歴史、豊かな自然に触れるにつれ、予想通りの魅力的な地域であったと記憶に残る情景を懐かしんでおられた。その後も、総領事からは、愛媛にまつわる話題が次々と飛び出し、愛媛に対

する関心の高さが窺えただけでなく、愛着とも言える特別な思い入れを抱いているように感じられた。



領事館での懇談



中村知事、河野団長、笹岡副団長

さらに、総領事から議員団に対して、これからは地方の時代であることに言及したうえで、愛媛県議会とハワイ州議会でぜひとも交流促進の議員連盟を結成してほしいとの提言をいただいた。これまで知事部局や民間レベルでの交流はあったが、そこに議会同士の交流が加わることで、より強固な友好関係の構築につながるものであり、非常に意義深い提案であった。現時点では議員個人レベルでの交流活動に止まっているが、そのパイプを活かして組織レベルでの活動につなげられないか、今後の検討課題として持ち帰ることとした。

#### (4) ホノルル市長 表敬訪問

**【日 時】**

11月21日(木) 17:04～17:30

**【場 所】**

ホノルル市庁舎

530 S King St, Honolulu, HI 96813

**【対応者】**

カーク・コールドウェル ホノルル市長

**【内 容】**

21日最後の訪問先であるホノルル市庁舎は、ハワイ州政府ビルから1kmと離れていない場所にあり、近隣にはアメリカ合衆国唯一の宮殿であるイオラニ宮殿や日本でも有名なカメハメハ大王像がある。なお、現地関係者の話ではホノルルの道路は交通渋滞がつきものとのことであったが、訪問の時

間帯が夕刻であったため大変な渋滞に巻き込まれ、予定の訪問時刻にわずかに遅れての到着となった。



ホノルル市長を囲んで



懇談の様子

ホノルル市長の表敬訪問は、中村知事と市長のあいさつに始まり、懇談、記念品贈呈、記念写真撮影と行われた。

市長のあいさつでは、えひめ丸事故のことをホノルル市民は忘れておらず、この記憶は今後も受け継いでいくとの力強い言葉があり、えひめ丸事故の記憶はここホノルルの地でも風化することなく、人々の心に刻み続けられていることをありがたく感じた。また、えひめ丸事故の悲しい歴史を乗り越え友情を育んできた両地域であるが、ハワイには、日本からの移民が大勢いることから、実は昔から強いつながりを有しているとのことであり、先の東日本大震災で被災地に対する援助金を募った際に、これまでにないほど多額の募金が寄せられたことで、ホノルルの人々の日本に対する友好の思いを再認識させられたというエピソードも披露された。

なお、ホノルル市は本県宇和島市と姉妹都市交流を続けており、交流が始まってから、来年でちょうど10周年を迎えるとのことであった。県議会としても、両市の姉妹交流10周年記念行事の成功と今後ますます活発な交流を願うばかりである。

我々の訪問は夕刻という時間帯であったが、市長は時間を惜しむことなく意見交換に対応いただき、時には笑いも起きる和やかな時間を過ごすことができた。ハワイ州政府に続いて、ホノルル市での表敬訪問も愛媛とハワイの友好交流の深化を実感できる貴重なものであった。

## (5) フランキース・ナーサリー 調査視察

### 【日 時】

11月22日(金) 10:30~12:00

### 【場 所】

フランキース・ナーサリー

41-999 Mahiku Pl, Waimanalo, HI 96795

### 【対応者】

フランク・セキヤ オーナー

### 【内 容】

この日は、午前中にオアフ島の果樹農園「フランキース・ナーサリー」を訪れ、ハワイの果樹栽培事情について調査視察を実施した。フランキース・ナーサリーまでは、宿泊ホテルのあるワイキキから自動車を出発、南下して途中ハナウマ湾を右手に捉えながら、湾岸沿いに東進・北上し1時間弱の移動であった。農園は、6~8エーカーほどの広さがあり、周囲を山林に囲まれた傾斜地にあった。樹木の植え付けはそれほど整然としておらず、雑草なども生い茂った様子から、ある程度自然に任せている様子が窺えたが、無農薬栽培を行っているというオーナーの説明を聞いて、自然農法へのこだわりなのであろうと得心がいった。



広大な果樹園を視察



果樹園の多種多様な果物

栽培品種は多種多様で、南国ならではの見慣れない果物ばかりであり、一見するととても果物とは思えないものも多くあったが、実を割ってみると中には芳醇な果肉が詰まっており驚かされた。また、柑橘も多く品種が栽培されており、柑橘生産量日本一を誇る愛媛の柑橘と味を比較してみたが、どれも大味で酸味が強く、愛媛の柑橘をハワイで販売できれば、人気を博すのは間違いないであろう。

なお、この果樹園には目玉とも言える果物があり、それはハワイにあって

は実にオーソドックスなパイナップルであった。しかしながら、この果樹園でのみ栽培されている「ハニークリーム」という名称のパイナップルは、その名のとおり高い糖度と繊維質のないクリーミーな食感を兼ね備えており味は絶品、通常のパイナップルとは一線を画しており、当然ながら非常に人気の高い商品とのことであった。

パイナップルは、ヘタの部分があればそれを苗として栽培が可能のため、ハニークリームは他者による栽培を防ぐために、ヘタの部分を取り取って販売されていた。これは、ハニークリームがどれだけ特別な存在であるかを如実に物語るものであった。



ハニークリーム



果物の説明をするオーナー（右）

このような圧倒的な魅力を持つブランド品種を生み出したオーナーであるが、この果樹園のそもそもの始まりは、趣味で始めた果樹栽培とのことで、その趣味が高じて、現在では広大な果樹園を経営するまでに至っている。通訳を介しての説明ではあったが、オーナーの朴訥とした語り口の端々からは、いわゆる職人気質といった雰囲気滲み出ており、果樹栽培に対する強いこだわりと思入れが、今日の成功に導いたのであろうと感じた。

## (6) 愛媛県ハワイ州姉妹提携10周年記念式典・レセプション

### 【日 時】

11月22日（金）18:00～20:30

### 【場 所】

ワシントンプレイス（ハワイ州知事公邸）

320 S Beretania St, Honolulu, HI

### 【内 容】

22日の夜は、派遣の最大の目的である「愛媛県ハワイ州姉妹提携10周

年記念式典」に参加させていただいた。場所は、ワシントンプレイスと呼ばれるハワイ州知事の公邸で、邸内には白亜の洋館と広大な芝生の庭園があり、大変贅沢な佇まいで、現地関係者によると、この邸宅はハワイ王朝最後の女王リリウオカラニが、クーデターにより王座を追われて余生を送った場所とのことであった。

式典には、愛媛からは、県関係者に加えて石橋寛久宇和島市長、愛媛ハワイ交流少年野球大会の関係者など多数出席、現地関係者として、ハワイ州のショーン・ツツイ副知事はじめ、ハワイ州上院・下院の議員も大勢出席していた。さらに、前日表敬訪問させていただいた重枝豊英在ホノルル日本国総領事も領事及び領事館職員帯同のもと駆けつけており、邸内にあるテラスと広い庭園を使った会場は、開式時には優に300名を超える参加者が集まり、大変な賑わいを見せていた。



式典は、ハワイ日米協会のエドウィン・ホーキンス会長司会のもと執り行われた。式典冒頭、ハワイ州副知事と中村知事の主催者あいさつが行われ、中村知事のあいさつの終わりには、悲しい事故を乗り越えて愛媛とハワイの交流が拡大していることを9名のえひめ丸事故犠牲者に伝えるため、出席者全員による黙祷が行われた。

主催者のあいさつに続いて、本県議員団の河野団長が、県議会副議長として県議会を代表する来賓あいさつを行った他、愛媛ハワイ交流少年野球大会実行委員長として出席していた戒能潤之介県議も来賓あいさつを行った。いずれのあいさつも、えひめ丸事故の犠牲者のご冥福を祈るとともに、両地域の人々が悲しい事故を乗り越え、平和で未来志向の友好関係を築いてきたことを称賛し、今後も多様な分野での交流拡大を願うものであった。

厳かなセレモニーを終え、その後レセプションへと移行、会場では、地元ハワイの皆様によるフラや和太鼓の演奏、宇和島市民によるフラ、「うわじまガイヤ」踊りなどが賑やかに披露される中、再開を喜ぶ人、新しい出会いに会話を弾ませる人など、皆、思い思いに交流の輪を広げていた。



河野副議長による祝辞



本場ハワイのフラ

さらに、レセプションの終盤には、長年にわたりえひめ丸慰霊碑の維持管理や、愛媛とハワイの交流に貢献してきた方々に対する愛媛県特別功労賞の贈呈と、ボランティアでえひめ丸慰霊碑の清掃を続けてきた団体等に対する知事感謝状の贈呈が行われた。愛媛県特別功労賞を受賞された個人4名及び2団体、そして知事感謝状を受賞された個人1名及び12団体の皆様には、心よりお祝い申し上げるとともに、県議会を代表する議員団として感謝の意をお伝えしたい。



受賞された皆様



来賓が集って

また、ハワイ州側からも、愛媛ハワイ交流少年野球大会の実行委員長として、長らく同大会の継続実施に尽力してきた戒能県議の功績を評して、名誉市民の称号が贈られることとなり、同じ県議会の仲間として大変誇らしく感じたところである。少年野球を通じて愛媛とハワイの草の根の友好交流を行ってきた戒能県議の取組みに対して、惜しみない賛辞を贈りたい。

レセプションも終わりを迎え、最後に、前日取り交わされたばかりの愛媛県とハワイ州の姉妹提携再調印文書を披露、両知事による記念品交換が行われ、愛媛県ハワイ州姉妹提携10周年記念式典・レセプションは閉式となった。両地域関係者の交流の場は瞬く間に時間が過ぎ、会場を後にしたのは午後9時前であった。我々は、既に夜の静寂に包まれたホノルルの街を、式典の余韻に浸りながらホテルへと帰路についた。

## (7) 調査視察

- 愛媛ハワイ交流少年野球大会
- パールハーバー
- 愛媛フェア in ハワイ
- 宇和島 Hawaiian フェスティバル in Hawaii

### 【日 時】

11月23日(土)

- 愛媛ハワイ交流少年野球大会  
8:30～9:00
- パールハーバー  
10:00～12:00
- 愛媛フェア in ハワイ  
14:30～15:00
- 宇和島 Hawaiian フェスティバル in Hawaii  
15:30～16:00

### 【場 所】

- 愛媛ハワイ交流少年野球大会  
セントラル・オアフ・リージョナルパーク  
94 Kamehameha Hwy, Waipahu, HI 96797
- パールハーバー  
パールハーバー・ヒストリック・サイト  
11 Arizona Memorial Dr Honolulu, HI 96818-3104
- 愛媛フェア in ハワイ  
マルカイ・ホールセールマート  
2310 Kamehameha Hwy Honolulu, HI 96819-4531
- 宇和島 Hawaiian フェスティバル in Hawaii  
ロイヤルハワイアンセンター  
2201 Kalakaua Ave. Honolulu, HI 96815



## 【内 容】

ハワイでの公務もこの日が最後となる。最終日の日中は、4か所の調査視察を予定しており、最初の視察先として、愛媛ハワイ交流少年野球大会の始球式を訪ねた。野球大会が開催されるセントラル・オアフ・リージョナルパークは、ワイキキから10km以上離れた場所であり、野球やソフトボールの球場を12面、その他にもテニスやフットボール、多目的に利用できる広場など、日本では考えられないほど広大な施設であった。

始球式では、両国の国歌演奏に続いて、中村知事、戒能県議、ハワイ州議会のウィル・エスペロ上院議員のあいさつが行われた。中村知事のあいさつでは、中学生チームの選手たちが、ちょうどえひめ丸事故の年に生まれた世代であることを感慨深げに語っていた。また、試合は真剣勝負、試合終了後はノーサイドで友情を育んでもらいたいと、選手たちの健闘、そして、愛媛とハワイの少年の間に新たな絆が誕生することを願っていた。



あいさつの後、中村知事による始球式が行われ試合開始となった。少年野球大会には、小学生・中学生・高校生の部に分かれており、我々は、始球式会場で行われた中学生の試合（愛媛選抜対ハワイ選抜）の序盤を観戦した。親善交流を目的とした大会ではあるが、両チームの選手のレベルは非常に高く、野球の本場アメリカと日本の野球王国と呼ばれる愛媛の代表チームの磨き上げられた技とチームワークは、大変見応えのあるものであった。

試合では真剣そのものの両チーム選手であったが、試合後のランチでは打ち解け大いに友情を育んだとのことであり、国際交流の手腕は、大人よりも子供の方が一枚も二枚も上手であると感じた。この日、友情を交わした少年たちが、今後、愛媛とハワイ、さらには日本とアメリカの友好の懸け橋として、それぞれ活躍してくれることを楽しみにしたい。

少年野球大会の視察を終え、我々はパールハーバーに向かった。パールハーバーは、第二次世界大戦時に日本海軍による真珠湾攻撃が行われた場所として有名であるが、その時の攻撃を受けたアメリカ海軍の戦艦アリゾナが、現在も

湾の底に沈没した状態で静態保存されるなど、この地には、戦時中の遺物や記録を語り継ぐ博物館が集約された、パールハーバー・ヒストリック・サイトがあり、我々は、当時の潜水艦ボーフィン号の内部を見学できるボーフィン博物館を視察した。

ボーフィン号は、博物館敷地の面した湾上に係留されており、栈橋で歩いて渡れる状態であった。乗艦時には、見学場所に沿ってガイドを聞くことができる音声再生装置を借り、各自のペースでじっくり見学が可能であった。

まずは、ボーフィン号の艦内への入口の狭さに四苦八苦しながらの乗艦となり、乗り込んでからも、艦内の狭隘さに息をのみ続けることとなった。日本人の我々でさえ大変な圧迫感を覚えるわけであるから、大柄なアメリカ人にとっては言葉にできない環境であったはずである。狭い艦内には、剥き出しになった計器や魚雷などがひしめいており、乗員のベッドや食堂などはあつてないようなものであった。このような極限の環境に身を置き、戦場に赴いた当時の若者の姿を思うと、やるせなさを感じるとともに、現在の平和な日本を築き上げてくれた先人の皆様に対する感謝の念が溢れた。



ボーフィン号



艦内の様子

ボーフィン号の甲板に出ると湾が一望でき、その先には、アリゾナ・メモリアルが見て取れた。アリゾナ・メモリアルは、先述した戦艦アリゾナの上に設置された慰霊建造物で、細長く白い形状をしている。日本海軍による真珠湾攻撃によって、1,100人を超える兵士が戦艦アリゾナと共に海中に沈んだとのことであり、アリゾナ・メモリアルを前に、追悼の祈りを捧げるとともに、世界の恒久平和を心から念願した。

パールハーバーに続いて、愛媛県の物産展「愛媛フェア in ハワイ」の視察・激励に向かった。この物産展は、愛媛とハワイの姉妹提携10周年を記念するイベント事業の一環として県が開催するもので、ハワイのスーパーマーケットにおいて、愛媛県の水産品・加工品・菓子類・酒類などを展示・販売し、地元の消費者にPRするものである。



場所は、日系スーパーのマルカイ・ホールセールマート内に特設コーナーを設けて行われており、我々が訪れた時には、既に想定を大きく上回る販売実績を挙げており、特に、真珠製品については完売し、バックオーダーまで抱えているという盛況ぶりであった。これも、本県産品の品質の確かさの表れであることはもちろん、熱心に商品の販売・PRに汗を流していた、県職員ほか関係者の皆様の力によるものであり、その労を労いつつ激励させていただいた。

なお、このスーパーは、ロサンゼルスに本店があるようで、ハワイでの成功を足掛かりに、アメリカ本土でも愛媛県産品の販路拡大に繋げることができないだろうか、期待は膨らむ一方であった。

そして、最後の視察先である、宇和島市主催の「宇和島 Hawaiian フェスティバル in Hawaii」の行われる、ロイヤルハワイアンセンターへとワイキキに戻ることにした。ロイヤルハワイアンセンターは、ワイキキ一番の目抜き通りであるカラカウア通り沿いにあるショッピングの中心地にあり、旅行客が買い物に多数押し寄せる有名なスポットである。同センターの中央にあるロイヤルグローブと呼ばれる広場で、えひめ丸事故の風化を防ぎ、宇和島市とホノルル市の友好関係強化と宇和島市のアピールが行われた。

イベントでは、宇和島市長の英語でのあいさつと、中村知事によるあいさつに続いて、ステージショーが開催された。

ステージでは、宇和島市民のフラチームによるフラ、宇和島市民による「うわじまガイヤ」踊り、ハワイのフラチームによるフラや、両フラチーム合同によるフラなどが披露され、買い物客は足を止めてステージに見入っていた。宇和島市民のフラは、本場ハワイのフラ顔負けの流麗さで、現地の踊り手と何ら遜色ない素晴らしさであった。



宇和島 Hawaiian フェスティバル

このイベントによって、宇和島市は世界中からハワイに来た観光客に宇和島市とホノルル市の姉妹関係をアピールし、平成26年6月に控える「宇和島市・ホノルル市の姉妹都市提携10周年」に向けた弾みをつけたはずである。宇和島市とホノルル市の協働のもと、どのような周年記念行事が繰り広げられるのか、愛媛県南予地域の振興にも繋がるものとなるよう期待したい。

#### (8) ハワイ愛媛県人会との意見交換会

##### 【日 時】

11月23日(土) 18:30~20:30

##### 【場 所】

在ホノルル日本国総領事館

1742 Nuuanu Avenue, Honolulu, HI 96817

##### 【内 容】

海外派遣最後の公務となるハワイ愛媛県人会との意見交換会は、在ホノルル日本国総領事館で行われた。ハワイ愛媛県人会は、今からおよそ100年遡る1916年に創立されていたものの、諸般の事情により活動が休止した状態が長らく続いていた。しかしながら、近年、関係者の尽力により再結成の動きが本格化、今年度の6月に松リチャード会長のもとめでたく新生ハワイ愛媛県人会は結成された。

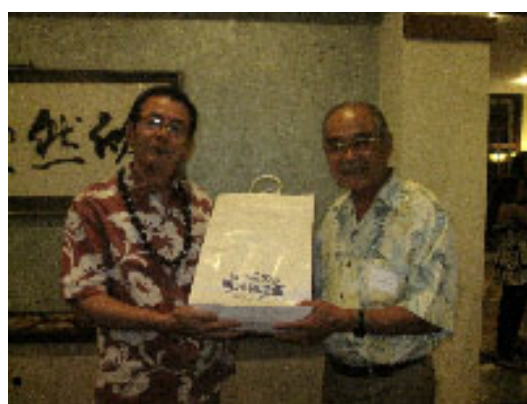
なお、県人会会長のリチャード松氏は宇和島市出身で、この日の午後に視察を行った愛媛フェア in ハワイが開催されていたスーパーマーケット、マルカイ・ホールマートを経営するマルカイコーポレーションの主席副社長である。

会場には、愛媛からは、中村知事をはじめとする県関係者、石橋宇和島市長、県議が出席、現地関係者として、ハワイ愛媛県人会関係者はもとより、会場を提供いただいた総領事館関係者、愛媛ハワイ会の首藤会長、そして、ハワイ愛媛県人会の特別顧問でもあるハワイ州議会のケン・イトウ下院議員など多数集っており、総勢約70名が出席しての意見交換会となった。

意見交換の前に、中村知事の開会あいさつに続き、県人会のリチャード松会長、石橋宇和島市長、河野県議会副議長、愛媛ハワイ会首藤会長、戒能県議による来賓あいさつが行われた。重枝総領事による乾杯の発声を皮切りに夕食を取りながらの打ち解けた意見交換となった。



河野副議長の来賓あいさつ



県人会会長に記念品贈呈

意見交換会では、県人会のリチャード松会長から、会設立の経緯や目的などの詳細を説明いただいた。活動休止状態にあった県人会がここにきて再結成に至ったのは、平成25年2月に行われた「えひめ丸事故慰霊式12周年」に出席していた上甲副知事が重枝総領事と面談した際に話題に上ったことがきっかけとのことであった。ここでも、えひめ丸事故がハワイに住まう本県関係者を結びつける力となっていたことを知った。また、前述のとおり、重枝総領事からは県人会再結成に多大な尽力をいただいております、県人会再結成時の設立総会も、この日と同じく在ホノルル日本国総領事館で行われるなど、県人会とは大変強い結びつきにある。このように、ハワイでの愛媛県人の活動に格別の支援をいただいている重枝総領事には、県議会を代表してあらためて感謝の意を表したところである。

また、ハワイ愛媛県人会は、現在45名からなる会員で、えひめ丸慰霊碑の清掃や慰霊式典への参加、愛媛県との交流を進めるなど、活発に活動されており、今後、会員が増加し、さらなる活動の広がりにつながるものと大いに期待し、激励させていただいた。

この日は、県人会の皆様との交流を通じて、過去の出来事や現在の暮らしぶりなど、貴重なお話を聞かせていただいた。そのご労苦には頭が下がるとともに、ご活躍されている現在のお姿には、愛媛県人としてとても誇らしい思いであった。また、意見交換参加者の大半は初対面の方であったが、どの方とも心からの交流ができ、同郷のつながりというものが、これほどに強く温かいものであったかと感じさせられた。

ハワイ愛媛県人会の新たな歩みは、まさに始まったばかりであるが、会員の皆様の結束力を目の当たりにし、その歩みは大変力強いものであると感じた。ぜひとも、またこの地を訪れ、県人会のさらなるご活躍を拝見するために皆様を訪ねてみたいと思う。また、願わくは、故郷愛媛にぜひともお越しいただきたいものである。